

## 越後「角田山」山行報告

山行月日：4月9日～10日

参加者：辻本 CL 菅井 杉山 高地 加藤 井上(里)

コース：角田山稲島コース～山頂泊～灯台コース

山頂へ至る登山コースが7本もある山(他に3本あるらしい)を私は知らない。それだけ地元の人々に愛されている山なのだろう。そのどれもが45分～1時間半程度で登れる。朝起きれば角田山へ、仕事を終えて角田山と、毎日、登られる方が絶えないらしい。

我々は花に抱かれ、日本海に沈む夕日を眺め、酒を汲み交わしたいと角田山に登った。

AM5時。会事務所をスタートする。予定通り進み10時過ぎには、臍に霞んだ越後の山々を車窓に楽しみ、快調に関越道を走っていた。下界は雪など何処にもないが、八海山、越後駒、中ノ岳は、残雪がビッシリとあり、目覚めていない。 「春霞 八海山は 覚めやらず」

中之島見附ICを降り、夕食の買出しのため信濃川沿いに寺泊へ向かう。大河信濃川は、水害から新潟市を守るべく大河津分水路に分けられ、3/5ほどの水量が蛇行せず日本海に注ぐ。その堰堤路を快適に走って行くが、途中、満開の桜並木のお招きを受ける。越後路はいたる所で春爛漫。心地よい風に吹かれながら、お花見となった。 「信濃川 右岸左岸に 桜満つ」

魚のアメ横を標榜する寺泊で、さば、赤魚、カレイ、イカの浜焼きなどのおかずと、味噌汁用の貝を調達。美味そうな匂いに堪らず、イカ焼きを別口で買い舌鼓を打った。

弥彦山に車で登り、スカイライン経由で登山口に向かう。途中、弥彦スカイライン頂上付近で正午になり海を眺めながら昼食を摂る。北側斜面には少し残雪があった。

角田山頂上は幕営禁止との思いから、午後13時20分稲島コースをスタートした。まことに遅い登山スタート。稲島コースは途中で水場があるので、炊事に必要な水を楽に上げられる。スタートして20分で水場に着く。付近はキクザキイチゲの群生があった。イチゲを愛で、米を洗い、各自2Lの水を背負った姿は、追い越して行くトレランランナーから奇異の目で見られる。コースは階段状の急登ではあるが、距離が短いので重い背中も苦にならない。登山道の左右に、片栗の花が登場するとc0445mにある観音堂に着く。まだ14時過ぎ。ここから山頂には指呼の間である。幕営には未だ早いとザックを下ろし大休息。西蒲原平野と日本海の眺めを楽しむ。春霞が無ければ守門岳、五頭連峰、飯豊連峰、朝日連峰、遠く鳥海山までの大展望が楽しめる。観音堂を過ぎ山頂に着くと、賑やかであろうと思われた山頂は、2～3人しかいない。避難小屋にも人影がない。今夜はテントではなく、避難小屋に寝ることにした。 「角田山 分け入るほどに 花の彩」ザックを下ろし山頂で記念撮影や、散策で楽しむ。あちこちにカタクリの群生がある。日本海に沈

む夕日は、残念ながら春霞で見ることができない。頂上周辺の散策が済むと、夜の食事の準備となる。小屋は快適で、板の間に銀マット4枚がピッタリの広さ。まずビールで乾杯。メニューは豪華！酒の肴は菜の花の辛し和え、さつま揚げ、焼き鳥、乾き物等々。超ベテランママの杉山さんが、手際よく作ってくれる。男は黙って焼酎のお湯割りで食う。酒は直ぐに空っぽ。晚餐は寺泊で買った鯖、赤魚、カレイ、イカなどの浜焼きがてんこ盛り。何だか知らない貝の味噌汁。浜焼きをほぐして、温めれば蒸し焼きの完成。美味しい！特に赤魚が絶品！もう大満足で夜が更ける。外に出ると木々の間から、新潟市内の灯が瞬いている。



寄り道した信濃川堤の桜並木



稲島コースのスタート



水場に着く



山頂にて



角田山 木々間に街の 灯の朧



辛し和え



さつま揚げ

長い夜が明け、角田山に霞んだ日が昇ると、地元の方々が次々と登ってくる。聞くと角田山登頂が毎朝の日課になっているとのこと。愛されている山なんだと感じる。

下山は日本海を眼下に、白い灯台、遠くの佐渡ヶ島を楽しむ急坂の灯台コース。軽くなった背中と春の陽気に気分も軽く、花の撮影会となった。登山道の左右を彩るカタクリの花が、どこまでも見送ってくれる。キクザキイチゲ、イカリソウ、一人静、雪割草など可憐な花が登山道のあちこちに姿を現わしてくれた。1時間ほどの下山道を2時間もかけ花を楽しむ。佐渡ヶ島は春霞の向うで見えないが、日本海のパノラマが広がり、鶯も鳴く。これを観たくて角田山に来たようなもの。

「海に果つ 急崖ゆけば 臙佐渡」

下山後は岩室温泉・遊雁の湯「よりなれ」500円、寺泊の海鮮昼食を味わい、帰葉の途についた。



お世話になった避難小屋前で記念撮影



いつまでもカタクリが見送ってくれる



灯台コースのパノラマ

# 角田山を彩る花々



カタクリ



雪割草



ショウジョウバカマ



ひとり静



キクザキイチゲ



イカリソウ

